

(3) 平成17年度基本健康診査受診者における高血糖・高血圧・高脂血リスクの重複状況

健診結果から高血糖・高血圧・高脂血の重複状況を BMI 2.5 以上と BMI 2.5 未満の比較では、有所見者は 7.5 倍であった。肥満者を減少させることが、高血糖・高血圧・高脂血の有所見者及びメタボリックシンドロームの該当者を減らすことになるため、肥満対策が重要である。また、有所見の最多が高血圧であった。BMI 2.5 以上で有所見の重なりをみると、2 項目以上の重なりが 38.2% で、そのうち高血糖と高脂血の 2 項目の重なりが 4.4% に対し、高血圧と高血糖は 11.6%、高血圧と高脂血は 11.5%、3 項目の重なりが 10.7% であった。高血圧者を減少させることが、メタボリックシンドロームの予備軍・該当者を減らすことになるため、血圧対策も重要である。

BMI 2.5 未満においては、高血糖・高血圧・高脂血の有所見が 16 人に 1 人あった。有所見の最多が高血圧と高脂血であり、メタボリックシンドロームに傾注することで見逃がす恐れがあるため、非肥満者の異常者に対する関わりも必要である。

				総数		40歳代		50歳代		60歳代	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者数(40～64歳)				3910		1211		1726		973	
BMI 2.5 以上の人数				820	21.0%	220	18.2%	394	22.8%	206	21.2%
(再) 有所見 の重複状況	高血糖	高血圧	高脂血								
	空腹時110以上	収縮期130以上 拡張期85以上	中性脂肪150以上 HDL40未満								
	●			9	1.1%	1	0.5%	7	1.8%	1	0.5%
		●		24	2.9%	9	4.1%	11	2.8%	4	1.9%
			●	25	3.0%	15	6.8%	8	2.0%	2	1.0%
	●	●		95	11.6%	9	4.1%	49	12.4%	37	18.0%
	●		●	36	4.4%	8	3.6%	16	4.1%	12	5.8%
	●	●	●	94	11.5%	27	12.3%	48	12.2%	19	9.2%
合計				371	45.2%	78	35.5%	190	48.2%	103	50.0%

				総数		40歳代		50歳代		60歳代	
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健診受診者数(40～64歳)				3910		1211		1726		973	
BMI 2.5 以下の人				3090	79.0%	991	81.8%	1332	77.2%	767	78.8%
(再) 有所見 の重複状況	高血糖	高血圧	高脂血								
	空腹時110以上	収縮期130以上 拡張期85以上	中性脂肪150以上 HDL40未満								
	●			1	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
		●		9	0.3%	4	0.4%	1	0.1%	4	0.5%
			●	8	0.3%	6	0.6%	1	0.1%	1	0.1%
	●	●		19	0.6%	3	0.3%	9	0.7%	7	0.9%
	●		●	19	0.6%	3	0.3%	10	0.8%	6	0.8%
	●	●	●	59	1.9%	13	1.3%	30	2.3%	16	2.1%
合計				185	6.0%	36	3.6%	88	6.6%	61	8.0%